

令和2年9月3日 開会

令和2年 第3回 東松島市議会定例会

## 議員一般質問通告書

東松島市議会

## 《 議員一般質問 目次 》

令和2年 第3回 定例会

順位	氏名	件名	頁
第1位	齋藤 徹	1 赤井遺跡の発掘調査について	3
		2 教育分野におけるICTのさらなる活用を目指せ	4
第2位	五ノ井 惣一郎	1 第2次総合計画の見直し等について問う	5
		2 防災拠点備蓄基地の維持管理費は県等に要望すべき	6
		3 柳の目地区開発について問う	7
第3位	土井 光正	1 コロナ禍を踏まえ、ICT化で市民サービスの向上を図れ	8
		2 観光行政の課題に対処せよ	9
		3 未就学児童のことばの教室を開設せよ	10
第4位	櫻井 政文	1 シティプロモーションを積極的に推進せよ	11
		2 新型コロナウイルス感染症拡大による行政課題を問う	12
第5位	滝 健一	1 市内人口の維持安定を図れ	13
第6位	上田 勉	1 原子力防災態勢を万全に	14
		2 文化遺産の情報発信を図れ	15
第7位	手代木 せつ子	1 牛網地区への取り組みを問う	16
		2 本市オリジナル結婚証明書・婚姻届受理証明書の作成を検討せよ	17

第8位	石森 晃寿	1	新型コロナウイルス感染症対策について	18
		2	市道・農道の整備等について	19
第9位	熱海 重徳	1	石巻新庄道路について	20
		2	民間活力との連携について	21
第10位	長谷川 博	1	国民健康保険における子供の均等割保険税の減免について	22
		2	新型コロナウイルス感染症への対応について	23
		3	市営墓地の整備について	24
第11位	小野 恵章	1	復興事業、重要事業の見通しは	25
		2	G I G Aスクールの未来について	26
第12位	小野 幸男	1	本市の砂州問題について	27
		2	環境問題について	28
第13位	佐藤 富夫	1	復興完結に向けての組織体制を問う	29
		2	高齢者の保護対策を問う	30

【質問者数13人・質問件数28件】

氏 名	件 名	要 旨
<p>第1位</p> <p>齋藤 徹</p>	<p>1. 赤井遺跡の発掘調査について</p>	<p>赤井遺跡については、平成30年第1回定例会においても一般質問を行っているが、該当地域の深谷西地区ほ場整備事業と赤井遺跡の発掘調査が同時に行われることを鑑み、以下について問う。</p> <p>(1) 赤井遺跡に関するシンポジウム等が開催されたが、その成果と国指定史跡を目指すための今後の見通しをどのように考えているか。</p> <p>(2) ほ場整備事業と発掘調査が同時に行われることに際して、双方の事業への影響はあるか。</p> <p>(3) 本市の遺跡、史跡を広く認知してもらい、学びの一助とするための「バーチャル博物館」を市のホームページ上に開設する考えはないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第1位</p> <p>齋藤 徹</p>	<p>2. 教育分野におけるICTのさらなる活用を目指せ</p>	<p>本市でも小中学校の児童生徒1人1台のタブレット端末の整備が始まるが、その運用方法については、期待する部分と不安に思われる部分がある。</p> <p>本市では、学力向上を目標に掲げており、他自治体になじ独自の対応も考えられることから以下について問う。</p> <p>(1) 選定されるタブレット端末の仕様は、想定されるさまざまな状況（セキュリティ、通信手段含む）に対応できるものか。</p> <p>(2) 事前アンケートの結果で、約3%に該当する全くインターネット環境のない家庭に対する対応はどう講じていく考えであるか。</p> <p>(3) 家庭内学習に有効な手段としてタブレット端末による習熟度別の課題の配信が考えられるが、どのような運用をする考えであるか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第2位</p> <p>五ノ井惣一郎</p>	<p>1. 第2次総合計画の見直し等について問う</p>	<p>本市は、平成23年12月に「東松島市復興まちづくり計画」を策定し、さらに新しいまちづくりの指針として「東松島市第2次総合計画」を策定した。</p> <p>総合計画は平成28年度から令和7年度（平成37年度）までの10年間の基本構想の中で、東日本大震災後の社会情勢の変化に対応し、また10年計画の策定から5年経過の中で人口減少対策の重要性、子育て環境、雇用確保等の市民のニーズも変化する中で「住み続けられるまちづくり」に向けた具体策を盛り込み、施策の目標値・将来像を見直す第2次総合計画基本構想の見直しと基本計画（後期）の策定が始動している。</p> <p>そこで、次の2点を問う。</p> <p>(1) 計画の策定を外部委託せず、職員が策定するとあるが、経費の削減と職員の資質向上についてどう考えているか。</p> <p>(2) 見直し等に携わる構成員と今後の進め方についてどう考えているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第2位</p> <p>五ノ井 惣一郎</p>	<p>2. 防災拠点備蓄基地の維持管理費は県等に要望すべき</p>	<p>市では、東日本大震災の経験を踏まえ、平成24年10月に「防災備蓄計画」を策定し、社会資本整備総合交付金を活用して防災拠点備蓄基地を鷹来の森運動公園内に整備した。また、市内には、地域防災備蓄倉庫14カ所・分散備蓄倉庫10カ所が整備されている。</p> <p>防災拠点備蓄基地に係る維持管理費は、令和2年度予算で約2,800万円と聞いている。</p> <p>他の市町村では独自に同様の施設を新設して維持し続けるには難しく、本市は近隣の市町村と連携した運用を望んでいると聞く。また、近年多発する豪雨被害にあった市町村への寄付、新型コロナウイルス感染症対策として県医師会等へのマスク貸与を一早くしている状況である。</p> <p>本市の防災拠点備蓄基地の維持管理費の負担について、広域的な視点で、県等へ要望する考えはないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>五ノ井惣一郎</p>	<p>3. 柳の目地区開発について問う</p>	<p>平成29年10月と令和2年2月の議員全員説明会で柳の目地区の今後の土地利用についての説明があった。</p> <p>説明会の中で、北工区（三陸自動車道側）、中工区（石巻西高の東側）、南工区（仙石線側）と3つに分けて開発するとのことであり、中工区（石巻西高の東側）は大手企業による商業地域の計画、北工区（三陸自動車道側）はディーラーの進出が決定し、開発許可の関係で地権者から本市で買収して進める説明がなされている。</p> <p>そこで、次の2点について伺う。</p> <p>(1) 中工区（石巻西高東側）は東日本大震災後、大手企業が進出計画を本市また地権者とも話し合い了解の中、商業地域として県の許可も下りていると聞き及んでいる。これまでの経緯と今後の進め方はどう考えているか。</p> <p>(2) 北工区（三陸自動車道側）のディーラーの進出予定は何時頃か。また、今後の企業誘致手法として今回のような手法（市による土地の買い取りと造成）で行う考えはあるか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>



氏 名	件 名	要 旨
<p>第3位</p> <p>土井 光正</p>	<p>1. コロナ禍を踏まえ、ICT化で市民サービスの向上を図れ</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大により、行政のデジタル化の課題が浮き彫りになっている。政府は、新たなIT戦略となる基本計画をまとめ「デジタル強靱化」の実現に向け、7月17日に5項目にわたる本格的・抜本的な社会全体のデジタル化を進めるとの姿勢を示した。そして、第32次地方制度調査会において、地方行政のデジタル化の推進などを盛り込んだ「地方行政体制のあり方等に関する答申」が提出され、社会全体で徹底したデジタル化が進むことになる。</p> <p>本市としてもデジタル化に取り組むべき行政課題が多々あると思うが、特に以下の点について伺う。</p> <p>(1) マイナンバーカードの利活用推進はどう考えているか。</p> <p>(2) 市役所庁舎と各市民センターの既存ネット回線を利用した、オンライン相談による市民サービスを行う考えはあるか。</p> <p>(3) 電子入札システムを導入する考えはないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>土井光正</p>	<p>2. 観光行政の課題に対処せよ</p>	<p>(1) 道の駅の実現化に向け、4月に「東松島市道の駅整備構想推進プロジェクトチーム」が立ち上がり具体的な計画が検討されている。</p> <p>現在、概略設計を発注しているが、本市として道の駅を整備するため、どのようなポリシーをもってコンサルに委託しているのか。また、現時点においての整備促進についての課題はなにか。</p> <p>(2) 宮戸島の海岸部に観光客のゴミの放置が後を絶たない。これまでも立て看板等による注意喚起はされているが、一向に改善されない状態が続いている。</p> <p>地元漁業関係者や小中学生の子供たちがボランティアで清掃活動をしている様子がSNS等で発信され話題となっている。先日も新聞報道で宮野森小学校の児童、保護者や地域のボランティア20名が海岸清掃活動に取り組んだことが掲載されていた。7月から全国的にレジ袋の廃止が叫ばれている中で、堂々とゴミを捨てる心境は理解しがたい。</p> <p>ここで行政として毅然とした対応をとるべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>土井光正</p>	<p>3. 未就学児童のことばの教室を開設せよ</p>	<p>先日、引きこもり文学大賞を創設した蘇生会総合病院の東徹氏の講演を聴く機会があり、大人の引きこもりは小学生の登校拒否から始まっていると話された。その中でも、小学生で言葉がうまく話せない児童がいじめに遭い、登校拒否している数も多いと聞いた。</p> <p>本市では、就学してから市内1カ所の小学校でことばの教室でケアをおこなっているが、未就学児でうまく話せない児童は、現時点で90人いると聞きおよんでいる。前に発達障害についての質問をしているが、発達障害と同様に早い時期でのケアが大切であることから「未就学児童のことばの教室」を開設すべきと考えるがいかがか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>1. シティプロモーションを積極的に推進せよ</p>	<p>人口減少の危機が取りざたされる中、地域活性の重要な鍵を握ると言われているシティプロモーション（自治体が行う宣伝・広報・営業活動）については、数多くの自治体が力を入れて取り組んでいる。</p> <p>渥美市長もこのような思想に沿って、企業誘致や私立高校の誘致等に尽力しているところは評価するところである。しかし、自治体間競争をしている今日、地域の魅力を創造し、他地域との差別的優位性をさらに高める必要があると考える。</p> <p>シティプロモーションの推進により認知度の拡大、交流人口の増大、定住人口の獲得、企業誘致の進展など成果を上げている自治体も出てきている。</p> <p>今後、市の人口ビジョン総合戦略の立案や「道の駅」構想の推進においても、シティプロモーションの視点やその実施が成功に導く重要なファクターであると思料する。</p> <p>そこで以下の所見を伺う。</p> <p>(1) シティプロモーション成功の方策の一つとして、地域ブランドを構築し、シティプロモーションとリンクするのが有効である。地域ブランドをいかにして構築するのか、あるいは地域ブランド構築に代わる考えはあるか。</p> <p>(2) シティプロモーションには市民の力が欠かせない。市民が市に愛着や誇り、郷土愛をもってこそ、市民協働のまちづくりの実績もあげられると思う。市に対する市民の誇りをどのようにして、醸成していくのか。</p> <p>(3) シティプロモーションの取り組みは、民間団体の方が先行し、ノウハウも多い。例えば、千葉県松戸市は民間ベンチャーによるまちづくりを展開している。今後、民間団体とどのように連携を進めていくのか。</p> <p>(4) シティプロモーション推進について、これまで市民協働課と商工観光課の横の連携をどのように行ってきたか。庁舎全体で取り組んだ方が成果が上がると考えるが、どのように考えるか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第4位</p> <p>櫻井 政文</p>	<p>2. 新型コロナウイルス感染症拡大による行政課題を問う</p>	<p>新型コロナウイルスの感染症拡大により、経済的あるいは社会生活全般に影響がおよんでいることは承知の通りである。</p> <p>そこで以下の所見を伺う。</p> <p>(1) かねてから子供のスマホ依存に関して、さまざまな弊害が指摘されてきたが、新型コロナウイルス感染症拡大による学校の休業によって、スマホで昼夜逆転や生活リズムを崩しているのではないかと懸念される。学校は再開されたが、通常生活に戻れているかの現状把握をしているか。また、スマホ依存の予防措置を図るような考えはあるか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症拡大により、ひとり親家庭が困窮していると側聞する。        養育費を確実に受け取れることができるような仕組みづくりとして、行政による立替制度を導入している自治体もあると聞いている。この問題についてどう考えているか。</p> <p>(3) 高齢者が新型コロナウイルス感染症を恐れるあまり、閉じこもりがちになっている。        外出や運動の自粛により、認知症になる危険性が高まり、実際、認知症になっているケースもある。        認知症は高齢化社会の重要課題の一つであり、深刻化する現状を踏まえ、今後の認知症施策についてどう考えているか。</p> <p>(4) 政府は新型コロナウイルス感染症対策として、デジタル化の推進を掲げ、行政においても押印を廃止したり、マイナンバーカードの活用による簡素化が進んでいる。        これは行政改革の一つでもあり、さらに推進するためにデジタルに精通している人材の確保について、どのように考えているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第5位</p> <p>滝 健 一</p>	<p>1. 市内人口の維持安定を図れ</p>	<p>本市の人口は東日本大震災の影響や自然減少もあり、2019年5月に40,000人を切る状態まで減少した。</p> <p>このような中、今年3月に各種人口の維持および減少緩和に取り組み、将来に渡って活力ある東松島市を維持することを目的に東松島市人口ビジョン第2期総合戦略が策定されたが、その取り組みに関し市長に伺う。</p> <p>(1) 東松島市への移住、定住の流れをつくる戦略において、2025年度までに転入者数を300人増の目標としているが、この半年間の状況を踏まえ、どのような取り組みを行う考えであるのか。</p> <p>(2) 安定した雇用の創出では、本市の新たな産業構造の確立と空き家・空き店舗の有効活用支援等を行うとあるが、具体的な方策をどう講じる考えであるのか。</p> <p>(3) 若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる戦略では、出生数の年平均100人増を目標としている。</p> <p>また、合計特殊出生率は2030年に1.8としている。コロナ禍の影響も考えられ、目標達成が難しい課題と思われるがどのように考えているか。</p> <p>(4) 時代に合った地域をつくり、安全安心な暮らしを守るための戦略では、メタボリックシンドローム該当者と予備群の割合を低く抑え、要支援、要介護認定者数を減少するための健康づくりが求められることから、独自の食材の認知普及を行うとあるが、どのように推進していく考えであるか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第6位</p> <p>上 田 勉</p>	<p>1 原子力防災 態勢を万全に</p>	<p>女川原発から周囲に放射性物質が放出された場合、UPZ内の東松島市での外部被ばく・内部被ばくの影響を最小限にとどめるため日頃からの準備が必要である。</p> <p>先日、県主催で行われた「女川原子力発電所に関する住民説明会」を踏まえ、以下について伺う。</p> <p>(1) 初動対処について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①情報入手態勢と市民への伝達要領</li> <li>②屋内退避と避難準備について</li> <li>③ヨウ素剤の準備と配布</li> <li>④防護措置</li> <li>⑤地域生産物、飲食物への摂取制限の考え方と準備</li> </ul> <p>(2) 市民への広報について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①行動基準について</li> <li>②屋内退避と避難準備の考え方</li> <li>③備蓄への啓発</li> </ul> <p>(3) 教育委員会の態勢について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①行動基準について</li> <li>②屋内退避と避難準備の考え方</li> </ul> <p>(4) 備蓄体制について</p> <p>県・市の備蓄の考え方と現状について</p> <p>特に常備薬、食料、飲料水、除染に必要な備品等の備蓄体制。</p> <p>(5) 消防団等の活動方針</p> <p>被ばく防止、防護、除染、避難誘導等</p> <p>(6) 市の凶上訓練の実施と職員教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①組織活動と各種機関・団体等との連携</li> <li>②職員教育計画</li> </ul> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第6位</p> <p>上 田 勉</p>	<p>2 文化遺産の 情報発信を図れ</p>	<p>本市には、重要な文化遺産が存在するが、特に赤井遺跡や矢本横穴墓群から出土する遺物の管理や情報発信が不十分である。</p> <p>遺物の整理はもちろんだが、ホームページ、フェイスブックなどによる情報発信や展示方法を検討すべきと考える。また、学芸員の増強充実が必要であり、広く人材の確保に努める必要があるが考えを伺う。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>



氏 名	件 名	要 旨
<p>第7位</p> <p>手代木 せつ子</p>	<p>1. 牛網地区への取り組みを問う</p>	<p>昨年の大型台風19号による大雨でも、当市は床上浸水した住宅が無かったことは、排水機場が增強されたものと考ええる。</p> <p>そのような中、突然のゲリラ豪雨が日本各地を何度も襲い、一級河川といわれている河川も氾濫し、大きな被害がもたらされていることも事実である。</p> <p>そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 市内には、県が選定する防災重点ため池が4カ所あり、その中の牛網堤ため池と芳萱堤の2カ所は牛網地区にある。県はため池のハザードマップを作成・公表しているが、昨今のゲリラ豪雨に備え、市民の大切な命と財産を守るため、市としてハザードマップを今後どのように活用していく考えであるか。</p> <p>(2) 昨年の大型台風19号による大雨で、市営小野駅前東住宅近くの調整池南側の用水路が、落ち葉などで詰まり、溢れたと聞いている。</p> <p>日頃の維持管理について、どのように考えているのか。</p> <p>(3) 牛網保育所脇を流れる蓋の無い用排水路の水量は、常に多いように思われる。水路の両側にフェンスはあるものの、高さは低く感じる。保育所のすぐそばであり、不安は一つでも減らすべきと思うが、その考えはないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第7位</p> <p>手代木</p> <p>せつ子</p>	<p>2. オリジナルの結婚証明書・婚姻届受理証明書の作成を検討せよ</p>	<p>過日の議員研修会で、今後、30年後には日本の人口は半分になるだろうとの説明があった。未婚化、晩婚化、少子化は本市にとっても例外ではなく、大きな課題である。これから一緒に歩もうとしている若い方々に、婚姻届提出という記念日を本市で迎え、東松島市を知る機会になればと思い、以下の点について所見を伺う。</p> <p>(1) 婚姻届を受理した際、市オリジナルの「結婚証明書」を市長名で、無料で贈呈している自治体もある。本市でも、実施する考えはないか。</p> <p>(2) 婚姻届を提出した際、確かに受理したという証拠となる公文書として「婚姻届受理証明書」を有料で発行している。この婚姻届受理証明書を希望された場合、既存の賞状タイプ以外に、希望者が選択できる本市が誇る独自のイラスト入りの婚姻届受理証明書の発行する考えはないか。</p> <p style="text-align: right;"><b>【答弁を求める者 市長】</b></p>

氏名	件名	要旨
<p>第8位</p> <p>石森晃寿</p>	<p>1. 新型コロナウイルス感染症対策について</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大で、医療体制は逼迫し、経営難に陥いる医療機関も存在している。したがって、患者が必要な治療を受けられなかったり、院内感染のリスクの懸念も高まっている。医療体制を維持し、市民が安心して医療提供を受けられるような対策について、以下の点を伺う。</p> <p>(1) 発熱外来は、いつ、どこに設置されるのか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って、特に救急医療機関は、多額の融資を受けたり、賞与を削減するなどしているが、財務状況に好転の兆しが無い。このままの状況が続くとさらなる悪化が予想される。追加支援策が必要と思料されるが、どのように考えているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第8位</p> <p>石 森  晃 寿</p>	<p>2. 市道・農道の整備等について</p>	<p>東日本大震災から、9年5カ月が経過した。先日、復興事業の進捗状況を見ながら市道や農道のパトロールをしたところ、感じたことがあり、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 川下地区から上下堤地区までの国道45号は、嵩上げ工事が完了すれば、大雨でも通行に支障がなくなるが、国道南側の集落までの市道は、冠水の可能性が今後もあると考えられる。 そこで、優先度の高い箇所から整備する考えはあるか。</p> <p>(2) いまだ砂利道となっている市道や、舗装が劣化したり、でこぼことなっている砂利道の農道が点在しているが、今後整備する考えはあるか。</p> <p>(3) 東日本大震災までは、道路愛護の際、市道の側溝清掃を地域住民の協力のもと実施していたが、高齢化が進み、実施が困難となっている。側溝に汚泥が溜まると大雨による住宅の冠水被害の発生も考えられるが、その対応策についてどう考えているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第9位</p> <p>熱海 重徳</p>	<p>1. 石巻新庄道路について</p>	<p>先日、「石巻新庄道路」についての計画が発表された。それは隣接した旧河南町の国道108号を通るルートであることから、市境にも近く、乗り入れ箇所によっては本市にも経済面・観光面において多大な影響が出るものと思われるがどう考えているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第9位</p> <p>熱海 重徳</p>	<p>2. 民間活力との連携について</p>	<p>これまで、パークゴルフ場や放課後児童クラブの運営など、積極的に民間委託してきた。特に公営住宅管理は県内初の民間委託で、経費やサービスの向上の面で一定の効果が上げられるものと期待できる。今後SDGsモデルの構築のために多くの民間活力が必要と思料されるが、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 人口減少対策・空き家対策における、HOPEや地元工務店組合などとの連携について</p> <p>(2) 観光面における宿泊業者との連携について</p> <p>(3) 被災跡地の利活用において、民間事業所との連携について</p> <p>(4) 子供不足からくる中学校部活動の存続における、スポーツ少年団などとの連携について</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長、教育長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第10位</p> <p>長谷川博</p>	<p>1. 国民健康保険における子供の均等割保険税の減免について</p>	<p>昨年9月定例会で、子育て世帯の国民健康保険税の負担軽減について一般質問を行った。</p> <p>自治体独自の子供の均等割減免が全国25自治体で取り組まれ、宮城県では仙台市が令和元年から3割減免を実施しており、本市でも子育て支援として取り組むべきとたたじた。</p> <p>その際の答弁は「国保財政運営上の観点から独自減免は難しい。本市としては引き続き、国に対して子育て世帯の減免制度の創設を要望していく」というものであった。</p> <p>しかし、隣接する石巻市では今年の2月定例会で国民健康保険税条例の一部改正を可決し、令和2年度から仙台市と同様に独自減免を実施している。</p> <p>今回の質問に際して、石巻市の担当に経過や内容について伺った。均等割は年齢や所得に関係なく18歳未満の子供に対しても一律に定額が賦課されることから、子育て世帯の保険税負担が大きなものとなっており、被用者保険との不公平感にもつながっているとの背景から減免施策の必要性はあるとのことであり、減免額は年間約2,000万円、減収分の財源は国保財政調整基金を充当している。</p> <p>このことにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子育てしやすい環境づくりの一助になると施策の効果を示している。</p> <p>本市でも、子供の均等割保険税の独自減免実施に取り組み、子育て世帯の負担軽減を図る考えはないか。</p> <p style="text-align: right;"><b>【答弁を求める者 市長】</b></p>

氏名	件名	要旨
<p>第10位</p> <p>長谷川博</p>	<p>2. 新型コロナウイルス感染症への対応について</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大が大問題となっている。感染拡大を防ぎ、市民の命と暮らしを守る対応が求められている。</p> <p>今回、私どもが実施した無作為の市民アンケート調査の回答でも、600余名の回答中80件あまりの声が寄せられ「仕事が減り、暮らしが厳しい」「発熱してコロナ感染が疑われるとき、どこに連絡すればいいのか分からない」「三密を避けろと言われても接客業なので、常に感染が心配」等々、不安を訴える声が多数寄せられた。</p> <p>そこで以下について見解を伺う。</p> <p>(1) コロナ禍による売り上げ減少や失業などについて、市民が身近に暮らしの相談ができる態勢はどうか。</p> <p>(2) 発熱外来の仕組みやPCR等検査の実施体制はどのように整備されているか。</p> <p>(3) 医療機関、介護・福祉施設、学校、保育・幼稚園等、集団感染リスクの高い職場に勤務する職員のPCR等検査が必要と考えるが対応策はどう考えているか。</p> <p>(4) 影響が甚大な飲食店等における「感染防止対策ガイドライン」の指導およびガイドライン遵守事業所への効果的な支援の取り組みはどうか。</p> <p>(5) 市民向けに「コロナ感染防止対策ガイドマニュアル」等を作成して、各世帯に配布して周知を図る考えはないか。</p> <p>(6) 第2波、第3波を見据えて、市内の各世帯に手洗剤、マスクを配布する考えはないか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>



氏名	件名	要旨
<p>第10位</p> <p>長谷川博</p>	<p>3. 市営墓地の整備について</p>	<p>昨年の12月定例会一般質問でこの件を取り上げ、少子高齢化、核家族化の進展もあり、お墓に対する考え方に大きな変化が生じている状況や、平成27年の公営墓地基礎調査の回答をもとに市営墓地の整備を検討すべきとただした。</p> <p>その際の答弁は「的確な市民ニーズを把握したうえで判断する」とし、「令和2年度中にアンケート調査を実施する。その結果とともに市内の宗教法人の状況や意見を聞き、さらには他自治体の事例等を調査し研究する」というものであった。</p> <p>今回、私どもが実施した市民アンケート調査の回答でも「公営墓地の整備」を要望する声が600余名の回答中70件あまり寄せられた。</p> <p>よって、市として早急にアンケート調査に取り組み、他自治体の事例等を調査・研究するべきと考えるがどうか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第11位</p> <p>小野 惠章</p>	<p>1. 復興事業、重要事業の見通しは</p>	<p>復興期間最終年度となり、残り7カ月となった。本市における復興関連事業の本年度完了の見通しを伺う。</p> <p>また、来年度改選期を迎えることから、計画途中の事業についてもそれぞれの見通し、市長の所見を伺う。</p> <p>(1) 復興事業の本年度完了の見通しは。</p> <p>(2) 道の駅構想の課題、その対応策は。</p> <p>(3) 令和の果樹の花里づくりの実現への課題と方策は。</p> <p>(4) 矢本駅南北接続橋の進捗状況はいかに。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第11位</p> <p>小野 惠章</p>	<p>2. G I G Aスクールの未来について</p>	<p>コロナ禍で、世の中のさまざまなものが変容した。学びの場においても同様であり、G I G Aスクール構想も前倒しで導入することで、その変化に対応しようとしている。不登校問題の一つの対応策として、タブレットの活用も考えるべきである。</p> <p>G I G Aスクール構想の可能性と問題点を問う。</p> <p>(1) 学力向上にどのように対応していくのか。</p> <p>(2) 不登校児の学びについての活用方法を構築するべきと思うが、その考えはないか。</p> <p>(3) I C T支援員の確保、また、その資質も重要であり、その対応について、どう考えているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 教育長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第12位</p> <p>小野幸男</p>	<p>1. 本市の砂州問題について</p>	<p>今回は市長の計らいで浜市漁港の砂州の取り扱いについて、国土交通省、宮城県東部土木事務所、市・県議会議員同席のもとで、今後の進め方について慎重なる協議を拝聴することができ感謝とともに、今後の参考になる意見も出たので、以下について伺う。</p> <p>(1) 地元漁業者の切なる願いや提案は、現状ここまで来てかなり厳しい状況と見るがどのように考えているか。</p> <p>(2) ノリ養殖のバリカン病・牡蠣のノロウイルス・貝毒の軽減に対する対応策は、非常に残念ではあるが、置き去りにされているように判断するがどのように考えているか。</p> <p>(3) 河川法上、構造物の設置は無理に等しい意見であり、砂州を戻すだけの対策以外無いような見解だが、抜本的な形とすれば海上の沖合に消波ブロック等の設置が有効と感じた。どのような対策があると考えているか。</p> <p>(4) 今後心配される東松島漁業生産組合ほか関連漁業者が、海水の取水や浜市漁港の利活用に支障をきたしており、毎年多額の予算がかけられ続けている。 この際、移転も視野に国との交渉も必要不可欠であると認識するがその考えはあるか。</p> <p>(5) 野蒜第2海水浴場の潜ヶ浦周辺が思いの外、砂の堆積が著しく目に留まるようになり、松島湾と外洋の海水の流入に支障をきたす恐れがある。 早急に対策を講ずるべきと提案するがその考えはあるか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第12位</p> <p>小野幸男</p>	<p>2. 環境問題について</p>	<p>野蒜・宮戸地区の移転地と被災元地の環境問題（海岸を含むゴミ問題、公共トイレの使用改善、除草問題）と、今年度の海水浴中止により不法投棄が一段と酷い現状である。来年度に向けて、万全の対策で取り組むため以下について伺う。</p> <p>(1) 市で買い上げた被災元地と市道の除草作業の現状について、以前にも伺ってるが、今年度の状況はどうなっているか。</p> <p>(2) 野蒜ヶ丘に整備された市道・遊歩道・公園等の管理について、地域との調整はどうなっているか。</p> <p>(3) 来年度に向けた野蒜・宮戸地区の海水浴を含めた海岸の利活用に関する対策はあるか。</p> <p>(4) 以前の質問で、環境整備に関する予算の獲得は、環境特区のような取り組みを提案したとき、市長は観光特区での対応を視野にと記憶しているが、今の進捗状況はどうなっているか。</p> <p>(5) 国は、いよいよ本格的にコロナ禍の現状を踏まえ東京一極集中の是正を図り、地方分散に本腰を入れるとの情報があった。環境ないし観光特区のまちづくりを掲げ、国民に選択される移住・定住の促進する機会と捉えるが、どのように考えているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第13位</p> <p>佐藤 富夫</p>	<p>1. 復興完結に向けての組織体制を問う</p>	<p>令和2年度も6カ月を経過、東日本大震災復興事業完結に向かおうとしている。</p> <p>事業完結には、マンパワーの確保が不可欠であるが、これまで自治法派遣職員を含めた職員一丸となって、難事業を遂行してきた事には敬意を表したい。しかし、相次ぐ集中豪雨等の日本列島災害により、各自治体からの応援体制が難しい状況にあるとも聞いている。そこで以下の点について伺う。</p> <p>(1) 本年4月から今日まで、現有の職員体制はどのような状況であるか。また、平時に戻りつつある来年度からのマンパワー確保の見積りはどうか。</p> <p>(2) 平時に向かう事業展開を円滑にするための創意工夫も必要である。その策はあるか。</p> <p>(3) 本年4月の組織機構改革により班制から係制に戻した。約半年経過したが、職務遂行等への戸惑いはなかったか。今現在の状況はどうなっているか。</p> <p>(4) 機構改革は職場の改善が伴うものであり、働き方改革により、どの程度の改善が進んだか。また、その内容と自己評価についてどう考えているか。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p>第13位</p> <p>佐藤 富夫</p>	<p>2. 高齢者の保護対策を問う</p>	<p>表題については、災害時はもちろん、平常時を含め高齢要援護者の支援体制について平成17年当時より国の段階で議論されてきたと記憶している。</p> <p>特に、東日本大震災、日本各地での豪雨災害を契機に避難確保計画が必要と言われてきた。しかし、全国の自治体の状況を見れば、7月時点でマニュアル化したのは約23%であるという。そこで以下の点について伺う。</p> <p>(1) 本市での状況はどうであるか。</p> <p>(2) 記録的な猛暑となった日本列島は、熱中症になる高齢者が増えていると聞く。本市でさえ、日中35度を記録した。加えて新型コロナウイルス感染症による高齢者の在宅も増えている状況である。</p> <p>①高齢者の一人暮らしの状況とエアコン未設置を調査したことがあるか。</p> <p>②前述を踏まえ、高齢者を熱中症から守ろうと全国の自治体では、エアコン購入費などを補助する動きが相次いでいる。本市の政策に反映するよう提案するがいかがか。</p> <p style="text-align: right;"><b>【答弁を求める者 市長】</b></p>